

評価者	健康福祉部長	内海 正彦
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ施設の整備
目標とすべきまちの姿	市民ニーズの高いスポーツ施設が整備され、民間のノウハウも生かした幅広い施設運営により、市民のスポーツ活動が充足されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成27年度	25.3%	平成28年度	21.8%	平成29年度	22.8%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

お金の使い方		お金の使い方		お金の使い方										
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない		使いすぎ	ちょうどよい	足りない		使いすぎ	ちょうどよい	足りない			
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%	仕事の効果	必要以上の効果	2.3%	0.4%	0.7%	仕事の効果	必要以上の効果	0.7%	0.7%	0.2%
	ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%		ちょうどよい	1.2%	43.2%	2.3%		ちょうどよい	1.1%	40.2%	1.2%
	効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%		効果不十分	2.3%	2.1%	18.7%		効果不十分	2.6%	1.6%	24.3%

平成27年度

平成28年度

平成29年度

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
平成29年度	28.3%	39.4%	4.7%	27.6%
平成28年度	26.1%	42.8%	3.9%	27.2%
平成27年度	25.5%	38.9%	4.9%	30.8%

2 内部評価

(1) 平成29年度の目標

①山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備については、引き続き環境部及び都市整備部と連携を図っていく。(健福-59)
②深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けては、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において意見を聞きながら、整備基本方針及び基本計画の素案を作成する。(健福-59)

(2) 目標とすべきまちの姿と平成29年度の目標との関連性

①市民ニーズの高い施設の整備を行うため、山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設の整備を進めていく。(健福-59)
②市民ニーズの高い施設の整備を行うため、深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向け、他部署との調整や関係スポーツ団体等の意見を聴きながら、進めていく。(健福-59)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	平成28年度	平成29年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度		事業内容	予算規模
健福-59	体育施設整備事業	3,095	2,034	10,263	42,168	1.0	2.0		b	B

(4) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】 ②深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けては、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会を設置し、スポーツ関係団体等から新施設建設に向けた意見聴取を行った。(健福-59)</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】 ①山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備は、山崎ごみ処理施設建設の進捗状況により検討を進められなかった。(健福-59) ②平成29年度中を目途に(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備の基本方針及び基本計画の素案を作成する予定であったが、施設整備に関し最も重要な「スポーツ」の考え方を改めて整理したことにより、検討会を開催できなかったため、平成30年11月末を目途に作成することとした。(健福-59)</p>

(5) 平成29年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- 施設整備基本方針及び基本計画(素案)は平成30年11月末に作成した後、平成30年度中にスポーツ推進審議会に諮問する。(健福-59)
- 山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討には、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも重要であることから、検討委員会の設置を検討していきたい。(健福-59)

(6) 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館とグラウンド整備については、平成29年度に「スポーツは文化である」と考え方を改めて整理し、施設整備にもその理念を取り入れることとした。(健福-59) 平成30年度は(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において、スポーツ関係団体等から意見を聞きながら整備基本方針及び基本計画の素案をまとめ、スポーツ推進審議会に諮問、平成31年度にパブリックコメントを経て、答申を得た後、行政計画として策定していきたい。(健福-59) 競技スポーツの推進を図るため、大会の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとともに、整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討する。(健福-59) 民間施設の借用・県や他市町との広域利用も含め、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備する。(健福-59)

(7) 平成30年度の目標

<p>①(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において、スポーツ関係団体等から意見を聞きながら整備基本方針及び基本計画の素案をまとめ、スポーツ推進審議会に諮問する。(健福-59)</p> <p>①山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備については、引き続き環境部及び都市整備部と連携しながら整備に向けて取り組む。(健福-59)</p>
--

(8) 目標とすべきまちの姿と平成30年度の目標との関連性

<p>①市民ニーズの高い施設の整備を行うため、山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設の整備を進めていく。(健福-59)</p> <p>②市民ニーズの高い施設の整備を行うため、深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向け、他部署との調整や関係スポーツ団体等の意見を聴きながら、進めていく。(健福-59)</p>

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	健福-59	事業名	体育施設整備事業					単位	円	指標の傾向	↗	備考
指標の内容	スポーツ施設建設基金寄附積立金											
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
スポーツ施設整備に必要なため	目標値	100,000	100,000	1,754,000	1,754,000	4,100,000						
	実績値	3,051	269,236	1,736,690	2,010,035							
	達成率	3.1%	269.2%	99.0%	114.6%							

参考 前年度外部評価結果への対応

<p>鎌倉市民評価委員会からの指摘</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深沢地域整備事業における体育館の建設は評価できるが、それに伴い2つの体育館が閉館となるリスク対応及び早期実現が課題である。鎌倉駅が最寄りの市民の屋内スポーツ施設利用の代替案をあわせて検討願いたい。 ・山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備は、早急に行くとともに、検討にあたっては、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも重要である。 ・市民ニーズの高い施設とは何か。健康志向が高まっている現在、スポーツ施設より運動施設の充実を望んでいる。時代にあった施設の整備に取り組むことが重要である。 ・民間のノウハウも生かした幅広い施設運営を検討とあるが、具体的な方策が不明である。 ・整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討、民間活力の有効活用方策の検討が必要である。 <p>提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ建設基金寄附積立金」が唯一の指標となっているが別指標も設定すべき。 ・「新総合スポーツ施設」の早期実現を期待する。 		<p>指摘への対応、コメント等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再編計画に基づく施設の統合となるため、新たな施設建設による代替はできないが、既存の学校体育施設開放の継続などにより、近隣住民のスポーツをする機会が減少しないよう配慮していく。 ・山崎浄化センター西側建物の上部利用のスポーツ施設整備については、近隣住民の理解を得られていない状況であるが、整備する状況になれば、スポーツ関係団体や市民・地元住民の意見を聴きながら進めていく。 ・スポーツ施設を単に競技スポーツだけをするための施設という視点ではなく、健康づくりや防災などにも対応する機能を盛り込む、という視点で取り組んでいく。 又、高齢者を含め、あらゆる市民が利用しやすい施設、かつ参加しやすいプログラムを提供できるよう検討していく。 ・PFIなどの手法を想定しているが、現在は施設整備の基本方針及び基本計画の策定に向け事業を進めている。これらの計画等の策定により、施設の導入機能等が具体になった時点で、施設運営について検討していく。 ・施設の建設に係る費用などについてもPFI事業など民間の活力を導入していくことが有効であると考えている。
<p>提言に対するコメント等(総論)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備には長期的な視野を持って取り組む必要があるため、他に適切な指標となる数値がないため、寄附積立金を指標としている。 ・整備時期については、深沢地域整備事業の進捗状況と関連するので、関係課等と連携をとりながら進めていく。 		

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

・事業の推進にあたり、様々な意見を取り入れる機会を設けている。

		評価の内訳						⇒	委員会の評価	
取組	↗	0	↘	1	→	6			→	
効果	○	0	△	4	—	3		△		

《課題》

・様々なニーズを調査しているが、それらのニーズを誰がどの様に判断して、施設整備の優先順位をつけるのか？
 ・「施設整備に関し最も重要な「スポーツ」の考え方を改めて整理した」とあるが、何をもって「重要」と判断したのか？
 ・(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備の進捗率がよくわからない。指標が必要ではないか？
 ・昨年の「スポーツ建設基金寄附積立金」が唯一の指標となっているが別指標も設定すべきという指摘に対しては有効な回答がない。
 ・施設整備には長期的な視野を持って取り組む必要があるため、他に適切な指標となる数値がないため、寄附積立金を指標としているという回答である。

《提言》

公式試合が開催できるような施設は作れないものか？昨年、茅ヶ崎市で市制記念の一環として行われたソフトボール実業団の公式戦は満席状態であり、子供達を含め、多くの市民にオリンピック候補選手を間近で見るといい機会になっていた。

《質問》

「市民ニーズ」をどう捉えているのかわからない。昨年「市民ニーズの高い」施設についての説明を受けたが、「施設」でなく「ニーズ」を行政がどう捉えているのかが知りたい。